

KSKS GARDENの記録  
依存症回復のエキスパート ワンネスグループ会報誌

~自分を好きになることから  
始めよう~

# Oneness Mind vol.1

ワンネスマインド

ONENESS GROUP  
依存症回復のエキスパート ワンネスグループ

依存症でお困りならご相談ください。(受付時間10:00~17:00)

依存で困ったらワンネス 検索

依存症相談ダイヤル

0120-111-351

依存症SOS相談メール:sos@oneness-g.com

ニュースレターが  
新しくなり  
ました!

## ワンネスメルマガにご登録ください!

ワンネスグループの活動やセミナー、イベントの最新情報をお届けします。  
ご登録方法は簡単! ワンネスグループの Webサイトの TOPから簡単に登録できます。  
Google、Yahoo!で「依存で困ったらワンネス」でワンネスグループの Webサイトを検索ください!

## 依存症回復の道をこれからも明るく照らしていきます!

いつもワンネスグループの活動にご理解とご協力  
をいただき、感謝申し上げます。気が付けば、2014年  
も残りわずかとなってまいりました。今年一年を振り返り  
ますと、危険ドラッグやカジノ議論などで依存症  
問題が社会的に注目され、ワンネスグループの活動も  
新聞やテレビなどのメディアに取り上げていただく  
ことが増えました。社会的に注目され始めた今を契機  
に、依存症で悩まれている方、その家族、また地域でサ  
ポートされている方、医療・法務関係の方、ひとりでも  
多くの方に、「一日でも早くワンネスにつながって  
もらいたい!」との思いが強まる一方で。

この一年、もっとも力を注いだのはスタッフの能力  
開発でした。これまでも依存症に関する様々なプロ  
グラムや手法を導入し、取り組んでまいりましたが、  
今は私だけでなく、スタッフが積極的に学んでく  
れています。カウンセラーを天職としてくれているスタッ  
フが、その資質をさらに高めて、プログラムを提供で  
きるようになることを目指しています。スタッフの高  
まりによって、回復の道中にある方は安心してプロ  
グラムに取り組み、スタッフ自身も充実感のある日々を  
過ごすことが可能になります。大切な仲間の幸せのため  
にも、豊かな回復の経験を財産にしてもらいたいと思  
っています。

そのスタッフ教育の一環として、8月から2か月に渡  
り、アメリカのアリゾナ州にある「アミティ治療共同  
体」へ、スタッフ2名を派遣し、現地生活の中で学んで  
まいりました。依存症回復の理想郷とも言われる「アミ  
ティ治療共同体」。一人ひとりが自分の過去や感情と向  
き合い、お互いに支え触れ合うなかで、自己の回復が広  
がるダイナミズムの真髄を吸収してきた彼らは、私た  
ちに惜しみなくシェアしてくれています。

夏以降、依存症に関する大きなイベントも行いま  
した。9月末にはICCE(国際アディクションカウンセ  
リング協会)のテイ・ピアン・ハウ代表を招き、フォー  
ラムを開催しました。ご来場いただいた皆様に改めてお  
礼申し上げます。今後もICCEとの協力のもと、ネット  
ワークの構築とスタッフのレベルアップに励む所存  
です。また世界最大のアディクションカウンセラーの  
職業団体、IC&RCの日本支部である「日本アディク  
ションプロフェッショナル認定協会」が発足しまし  
た。私自身は、その科学諮問委員および責任役員とし  
て従事しています。日本におけるアディクションカウ  
ンセラーの進化と認知の向上に、ますます努めてい  
かなければならないと、思いを新たにしております。

10月中旬には、キャンブル依存症カウンセラーに  
関して、全米・国際的に認知されている唯一の資格認  
定を管理している「IGCCB」より、ルーグ博士をお  
招きしました。彼女の元で、ワンネススタッフが、ト  
レーニングを実施いたしました。世界的に認知されて  
いるIGCCBの資格取得に向けたスタートとなりました。  
日本ではまだまだ依存症カウンセリングに関する  
資格が知られておりません。ワンネスのスタッフが有  
資格者となり、日本のキャンブル依存症対策につ  
いて、国際標準の治療サービスの提供を先駆けてい  
きたいと考えています。同時にワンネスグループは全  
米キャンブル依存症評議会に加盟しました。

12月には依存症再発予防スペシャリストとして知  
られる「コースキー・スクール」より、ローランド・ウ  
ィリアムズ氏をお招きしてのトレーニング、2015年4  
月には神経言語プログラミング(NLP)の大家として  
知られるグレイ博士をお招きし、NLPの依存症治療  
への応用を学ぶ予定です。欧米には依存症回復のプロ

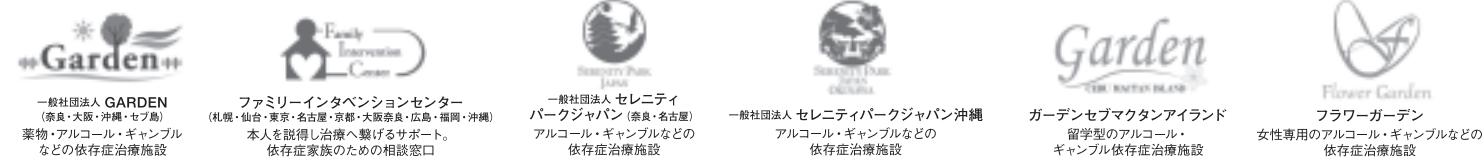
グラムが豊富にあります。ワンネスグループはそれを  
積極的に学び、後進と言われている日本の依存症治療  
に役立てていきたいと考えています。

もうひとつうれしいニュースがあります。東京都内  
で活動され、かねてより関係が深かった「セルフサ  
ポート研究所」のご協力が仰げることになりました。  
ワンネスグループ本部スタッフとして、全国のご家族  
のケアを担当していただきます。依存症に悩む当事者  
はもちろんですが、傷ついた家族というコミュニティ  
が癒されなければ、真の回復とは言えません。「家族  
の回復」は、もっと力を入れていきたい部分です。彼ら  
の臨床心理士としての能力と、依存症の家族支援を続け  
られてきた20年の実績に期待しております。

日本ではまだ根づいていない依存症回復の技術や  
支援の方法が、先進国にはあります。ワンネスグル  
ープはそれを知る者として、日本の文化にフィットさせ  
て広め、依存症回復の道筋を明るく照らしていき  
たいのです。この度、ニュースレターを刷新すること  
となりました。ワンネスのエネルギーが磁石のように関  
わる人を呼び寄せ、集まった人たちが新たな磁力とな  
ってくれるよう、さらに活動を公に発信していきたい  
と思っております。「生活のために働くのではなく、命  
のために創造する」をモットーに、スタッフ一同、心を  
ひとつにまい進してまいります。これまで同様、皆さ  
まの温かいご支援をお願いいたします。

ワンネスグループ代表 矢澤祐史  
職員一同

ONENESS GROUP ワンネスグループのエネルギーは、今、全国に広がっています。



## 座長 矢澤祐史の ありのまま、 心のまま vol.1

ワンネスグループ代表の  
矢澤が、ふと感じた思いを  
つづっています。皆さまの気持ち  
がニュートラルになりますように…

ボクが彼らと出逢ったのは、意外な巡りあわせからだ。喧噪の日常であらゆる  
ニュースを追う暮らしにほとほと疲れ、新たな自分との出逢いを求めて旅を  
始めた。過去を振り返れば、いつの日か薬物やキャンブル、そして果ては人間  
関係依存という嗜癖に安らぎを見いだしたボクは、孤独や恐れ「今だけ我慢す  
れば幸せはやってくる、頑張れ、頑張れ」というエゴの声に依存し、その声に危  
うなされるまで、それを信じ使い続けた。それらを生きることがやめられな  
かった。結果、今の幸せを犠牲にし、未来に生き、今ある幸福に気づくこと  
ができた。すなわち、それは今ここにボクが存在していないのと同じこと  
だった。しかし、自分の内側にある閉ざされた風習を理解するようになるの  
には、必要なプロセスだったのだと思う。今では、新たな世界観の旅が始ま  
っている。人生は旅のようだ。人生という旅。自分自身に  
気づいていくこと。本来、人間は地球人として根っから  
のナチュラルリストであるのだと思う。だから今、ここ  
に存在しているのだと思う。ここには海がある、太陽  
がある、木がある、草花がある。そして、風が吹いて  
いる。そしてここにボクはある。何があろうが、日はま  
た昇り、季節は巡る。始めればよい、いつになっても  
遅すぎることはない。そして、彼らとの旅路が、今す  
でに始まっている。



## イベント情報 [すべてのお問合せ・お申込み] ワンネスグループ本部 TEL 0745-24-2050 / http://oneness-g.com

ワンネスグループでは全国各地で依存症に関するイベントを行っています。詳しくは各イベントのチラシ、またはワンネスグループの  
ホームページをご覧ください。スタッフ一同お待ちしております! ぜひお近くの会場へお出かけください!

### ★依存症回復セミナー★

- 【大阪・大阪市】  
11月16日(日)13:30~16:30  
クレオ大阪西2階研修室(大阪市此花区西九条6-1-20)
- 【京都・京都市】  
12月13日(土)13:30~16:30  
京都社会福祉会館(京都市上京区猪熊丸太町下中野町519)

- 【沖縄・那覇市】  
11月29日(土)17:30~20:00  
沖縄県男女共同参画センター(沖縄県那覇市西3-11-1)
- 12月27日(土)17:30~20:00  
沖縄県男女共同参画センター(沖縄県那覇市西3-11-1)

### ★キャンブル依存症回復セミナー★

- 【北九州・北九州市】  
11月22日(土)14:00~16:30  
北九州市立商工貿易会館 シティプラザ(北九州市小倉  
北区古船場町1-35)
- 【福岡・福岡市】  
12月14日(日)18:00~20:30  
正友ビル2階会議室(福岡市中央区天神4-5-20)

### ★ファミリーグループセミナー&相談会★

- 【東京・千代田区】  
臨床心理士加藤力がサポートする依存症者を  
抱える家族のためのワンネスファミリーグループ  
東京セミナー&相談会  
12月6日(土)セミナー13:30~16:00、相談会16:00  
~17:00 東宝土地株式会社4階会議室(東京都千代田  
区神田新保町3-2)  
※事前登録にご協力ください。申し込みがなくてもご参加いた  
できます。

### ★世界的に有名な依存症治療の専門家 ローランド・F・ウィリアムズによる コースキー・メソッドに基づく依存症再発 予防スクール★

- 【大阪・堺市】  
出所後間もない元受刑者のための治療モデル  
12月14日(日)10:00~16:30  
堺市産業振興センター(大阪府堺市北区長曾根町183-5)  
参加費3,000円(税込)

- 【奈良・大和高田市】  
臨床スペシャリストのための  
実践スキルトレーニングプログラム(3日間)  
12月15日(月)10:00~16:30、16日(火)・17日(水)9:30  
~16:30 一般社団法人セレンティパークジャパン(奈良県  
大和高田市東中2-10-18) 参加費(3日間)108,000円(税込)
- 依存症を抱えるご家族のための家族ワークショップ  
12月20日(土)10:00~16:30  
一般社団法人セレンティパークジャパン(奈良県大和高田  
市東中2-10-18) 参加費30,000円(税込)

メディアで紹介されました! ワンネスグループの活動が、新聞やテレビなどで紹介されました。  
グループのホームページでは記事をご覧ください。http://oneness-g.com

- ・8月25日 雑誌『週刊プレイボーイ』/薬物依存について
- ・8月26日 TV琉球朝日放送/夕方のニュースにて「SPJ沖縄」について
- ・8月31日 新聞『東奥日報』朝刊/青森セミナーについて
- ・9月8日 新聞『毎日新聞』朝刊/カジノ議論とキャンブル依存症について
- ・9月21日 新聞『岐阜新聞』/ SPJ名古屋セミナーについて

取材のお問合せ・お申込み  
ワンネスグループ本部(担当:村田)  
TEL 0745-24-2050

2000年12月12日 第三種郵便物承認 奇数月15日発行



### セレニティパークジャパン奈良 代表／三宅隆之

2011年春に西日本初のギャンブル依存症治療施設として開設した当ヶアセンターも、4回目の秋を迎えました。施設運営の経験がなかった私が施設長という、何もかもが手探りの中からのスタートでしたが、施設内外から多くの支援をいただき、たくさんの回復の物語をサポートさせていただいてきました。また回復した方の中から、ワンネスグループ各施設のスタッフを希望される方も増え、単なるプログラム提供から、利用者やご家族への包括的支援へと広がっています。ヶアセンター内の様子も、その時々で変化を続け、現在ではベーシックなプログラムの提供だけでなく、利用者の方からの主体的な行動も応援しています。人にはそれぞれ「強み」があります。週一回行われる利用者会議を例にとると…「司会や意見をまとめる事が得意な人」「書記が得意な人」「企画提案が得意な人」「議事録をパソコンで入力するのが得意な人」などなど。会議で意見を言えなかったとしても、「決まったことを頑張って実行に移すのが得意な人」「他の仲間から教えてもらった通りにやってみる事が得意な人」など、種類は違っても同じ目標に向けて、自分のできる事を持ち寄ります。その過程において、自身の思い通りにならぬ事も当然起こってきますが、ギャンブル依存症者特有の「心のシャッターを閉めて、何事も無いような表情をして、その場を回避する」というパターンから脱却するべく、変化をうながすために多方面からアプローチしています。ギャンブル依存症者ならではのパターン…。私たちが薬物依存の支援をメインとするGARDENのヶアセンターとともに活動する中で、ギャンブル依存症者ならではの気質的なものを感じてきました。そのパターンに対処する手立てについて、試行錯誤していたところ、この秋、アメリカのギャンブル依存症に特化したカウンセリング資格のトレーニングを受講できる機会が訪れました。これは日本におけるギャンブル依存症者支援の歴史にとって画期的な出来事だと確信しています。グループのスタッフ一同、新時代に向けて着実に歩んでまいります。



### セレニティパークジャパン沖縄 代表／位田忠臣

はいさいちゅーがなびら。みーどゅざる。がんじゅやみせーみ。(皆さんこんにちは。お久しぶりです。お元気ですか?)  
季節はだんだんと冬に向けて進んでいますね。沖縄はまだまだ暖かい気候であります皆さまいかがお過ごしでしょうか?  
ここ南国沖縄で私たちは、「人生はドラマティックでこの世で一番価値のある冒険!!」として、この与えられた旅路と一緒に楽しむ仲間とともに「自分が変われば世界が変わる」をキャッチフレーズに日々プログラムに取り組んでいます。自分の内面が自分の周りで起こることを定義して受けとります。その定義が変われば、受け取り方も変わり、自分が生きている世界が変わります。言葉にすれば簡単ですが、一人では決してできないことです。しかし、仲間と一緒にプロセスを踏めば、確実に世界は変化します。

とくに沖縄はならではのプログラムを導入し、クライアントにここでしか体験できない貴重な時間を過ごしてもらっています。温暖な気候、豊かな自然、温かくおほらかな人柄、のんびりとした時間の流れ…。都会にはない非日常的環境のなかでプログラムを受け取ること、自分にいつの間にか背負わせてきた常識や生き方、生きづらさの枠を超え、新しい生き方ができるようになります。

私たちセレニティパークジャパン沖縄は基本の12ステップはもとより、最新の心理ワークやプロのインストラクターを講師に、サーフィンやスケートボードを行う運動プログラム、外国人講師による語学プログラム、キャンプやビーチパーティなどのレクリエーションとさまざまなプログラムを行っています。こういったプログラムを活用して、自分自身と向き合い社会復帰を目指しています。

地元沖縄では、私たちの取り組みが評価され、マスコミで紹介されたり、教育現場での講演に呼んでいただいたりと、活動の幅が広がってきました。一人でも多くの依存症者が、輝く人生を取り戻すために活動し、また一人でも多くの健全な青少年が依存症に陥らない社会を実現するために、微力ですが尽力しています。今後ともご支援をよろしくお願いたします。



### GARDEN セブマクタンアイランド 施設長／酒井勇二

GARDEN CEBUは、フィリピンのマクタン島で初めての試みとなる、民間運営の日本人向け留学型依存症治療施設です。現在スタッフ2名、クライアント13名、合計15名の日本人がセブ島の美しい海に囲まれた開放感のある雰囲気の中で、共同生活をしています。依存に悩まされていた日本から、思い切った環境をリセットすることで、クライアントの心もリセットし、新しい生活をスタートしてもらっています。施設に隣接して、ダイビングショップも経営しており、そこで働くフィリピン人スタッフ6名が、施設のサポートもしてくれています。

ここでは、心理療法とダイビングを中心とした、自然の中で回復を考えたプログラムを行っています。特にダイビングを取り入れていることは、依存症治療施設では独自だと考えています。ダイビングプログラムは週4回行われており、クライアントは週2回程度、ダイビングを行い、自分自身と向き合います。ダイビングは、回復のプロセスと非常に似ている部分があります。ダイビングは一人ではできないように、回復も一人ではできません。ダイビングそのものを回復のプロセスに生かしていることを、一番の目的です。退所を現実にするために、ダイビングの資格取得のサポートも行い、退所後の雇用創生にも力を入れています。



# ONENESS DIARY

### 各施設の紹介

ワンネスグループは奈良を本部に、国内は沖縄、名古屋、大阪、国外はセブ島で支援活動を行っています。ここでは毎回、各施設の様子をご紹介します。初回は各施設を紹介!  
※今回紹介しきれなかった施設は、次号で紹介予定です。

### GARDEN 代表／伊藤宏基

ワンネスグループにおいて「GARDEN」は、薬物・アルコール依存症の方の回復プログラムを提供する治療共同体です。奈良はワンネスグループの中で最初に開設された場所です。2005年にスタートしました。

長い間、依存症で苦しんできたクライアントは、まずは肉体的に健康になるように、共同生活を通じて、正しい生活リズムを身に付け、運動プログラムを行います。そして精神的回復を目指したプログラムを提供します。回復の最終目標として社会復帰を目指しているため、社会的回復のための就労プログラムも提供しています。施設から社会に戻る時期には、精神的にもストレスが大きく、クライアントは不安定になりがちです。その時期を無理なく過ごしていけるよう、就労者には、夜間にサポートプログラムも提供しています。どの利用者の方も最初は心を開きにくいのですが、私たちはクライアントのペースを重視して、根気よくプログラムを提案しています。

また、全体のプログラムの中で力を入れているのは「エンカウンターグループ」です。「エンカウンター」とは「出会い」を意味します。ファシリテーターのスタッフが進行役となって、数人でグループを作って、自分のことを話したり、ほかの人の言葉に耳を傾けます。このセッションを続けるなかで、自分の話を聞いてもらえるという信頼感や、他人の話をじっくり聞くという経験を積み、人間関係を深め、豊かなものへと育てていきます。また問題を抱えたクライアントが、自分の感情を言葉にして表現し、解決策を探ります。そこから導き出された解決策を実践し、新しい生き方をする事で、過去の薬物やアルコールなどの依存物質で解決してきた自分の感情を処理できるよう導いていきます。



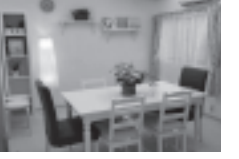
### フラワーガーデン 施設長／オーバーヘイム容子

私たち「FLOWER GARDEN」は、奈良県橿原市にある女性治療共同体施設で、2014年6月に開設したばかりです。ここでは薬物・アルコール・処方薬・ギャンブル・共依存・自傷行為・摂食障害などの依存を持つ女性のためのリハビリ施設で、スタッフも女性が多いです。

依存症はWHO(世界保健機構)が認定している心と体の疾患であり、性別、社会的地位、年齢、信条、人種に関係なく襲いかかります。しかし、依存症は主に男性が患う疾患であるという思い込みが一般的であるため、たくさんの女性依存症者が必要な治療を受けられずに苦しんでいます。私たちは「女性にも回復を選ぶ事ができることを知ってもらいたい、回復の場があることを知ってもらいたい」と、今、積極的にメッセージ活動を行っています。

「女性は可哀想だから…」という雰囲気ではなく、女性らしさや人間らしさを出していけるように、共同生活やプログラムのなかでも心がけています。ここは愛があふれる温かい場所です。安全で安心な環境のなか、楽しく依存症からの回復を目指し、皆がそれぞれできる事を伸ばしていけるような、共同体を作り上げていきたいと思っています。

入所から退所まで段階制を設け、クライアントの進捗度合いに合ったプランを検討し、プログラム提供をし、健康的な生活を送るためのサポートを実践しています。1人の人間として尊敬を持ち、どんな自分でも自信を持って「自分が好き」と言えるように、そして、女性でも自立して生きていけるよう、ともに回復し成長を続けていきます。



### セレニティパークジャパン名古屋 施設長／垣本洗希

2014年8月に開設したセレニティパーク名古屋は、開設より4カ月に入り、積極的にセミナーやメッセージ活動を行い、東海地域で、ひとりでも多く依存症に悩まれている方とつながろうと奮闘しています。

開設準備の段階から、各県の行政・医療・福祉など各機関を回らせていただき、担当の皆さまと実際にお会いするなかで、様々な依存で悩まれている方が多いように感じました。開設の折にはメディアでも積極的に取り上げていただいたおかげで、相談件数も増えています。そんな中、若い相談者の方が多いことが気になっています。名古屋は大学が多いからでしょうか? 前途有望なはずの若者が、依存症に陥らなくてもすむように活動の幅も広げていきたいと思っています。

セミナールームで、多くの仲間と語り合い、プログラムを実施していく日々を目指して奔走しています。加えて施設の近くにはワンネスグループの雇用創成プログラムとしても活用されているラーメン店「拳玉」があります。クライアントとともにラーメン店をますます盛り上げていきたいと考えています。あわせてご支援をよろしくお願いたします。



### ★アディクション用語の解説★

国際アディクション専門職認定教育センター(ICCE)  
2009年2月に、コロポ計画のDAP(薬物諮問プログラム)の資格認定部門として設立。当初は、ACCE(アジアアディクション専門職認定教育センター)という呼称だった。参加国がアジアのみならず、アフリカ、中近東へ広がったことから、名称を変更した。

コロポ計画  
アジア各国の経済、社会的協力のために1951年に創設された国際的な政府間組織。本部はスリランカのコロンボ。日本も1954年に参加。人的資源の開発や技術協力などで深く関与している。成長を続けるアジアにおいても薬物問題が深刻化し、1973年にDAP(薬物諮問プログラム)が設立され、治療、予防、啓発のネットワーク形成を目的として活動している。

ICCE 国際アディクション専門職認定プログラム  
ICCEの国際カウンセラー認定プログラムは、4つの資格と8つのカリキュラムから成り立つ。主として心理療法の実践を専門とするアディクションカウンセラーは、「初級ICAC-I」「中級ICAC-II」「上級ICAC-III」の3段階があり、加えて今年、当事業の生活と密着して、二人三脚で回復を助ける「リカバリーコーチ」が新設された。今回、ワンネス代表の矢澤が取得したのもこの資格。

ICCEプログラムは依存症治療に必要な全分野が網羅されている。なかでも特筆すべきことは、政府間組織が母体であること、また依存症治療先進国アメリカで行われているプログラムと同等であること。日本では依存症治療において、何らかの実効性のある取組みは皆無に等しく、病気からの回復者が、自前で施設を作り、経験則と自助グループの原理に基づいて、苦しんでいる当事者を何とか救いあげようと悪戦苦闘しているのが現状である。ICCEのような専門的で確実性の高いスキルは、日本の依存症治療の現状を引き上げる手立てになると期待されている。

## IGCCB(国際ギャンブルカウンセラー認定協議会) カウンセラー認定講座 10月13日(月)~17日(金) 会場／セレニティパークジャパン奈良

講師ロリーン・ルーゲル博士(メリーランド大学医学部問題賭博センタープログラム・ディレクター)  
10月にはIGCCB国際ギャンブルカウンセラー認定協議会による、日本で初めてのカウンセラー認定講座がセレニティパークジャパン奈良を会場に開催されました。今回は協議会の代表であるロリーン・ルーゲル博士を迎え、資格取得に向け、座学中心のトレーニングでワンネスグループのスタッフも参加しました。  
5日間の講座は神経生物学、併存する疾患や障害についての解説、治療へのアプローチ、司法制度との関連など、ギャンブル依存の回復に役立つ内容で、自身の治療手段に導き、回復へと支援するために必要なカウンセラーとして関わり方を、詳細に学びました。



●Data  
愛知県名古屋千種区今池南31-21  
TEL 052-731-5272  
営業時間/11:30~14:00、18:00~23:00  
休火曜

## 薬物、ギャンブル、アルコール依存症回復を考える1日in大阪 9月28日(日)会場／大阪国際交流センター

### 午前の部 ONENESS GROUPシンポジウム 「依存症からの回復の物語」

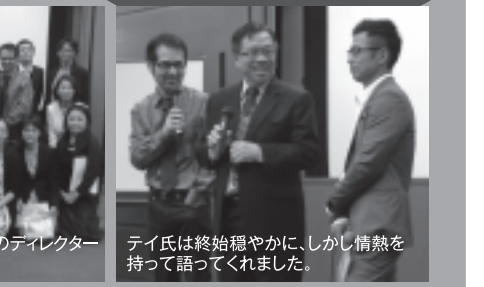
ワンネスグループの矢澤祐史と高部知子がファシリテーターを、ワンネスグループの各施設長がスピーカーを務めました。自分自身が、または家族として、依存症からの回復の経験を持つメンバーが、それぞれの思いを語り、また経験があるからこそ、実感としてわかることを会場の皆さまにお伝えできたことと思います。



ワンネス各施設のディレクターたちが、自分たちの経験を語りあった午前の部  
【ゲストスピーカー】  
国際アディクション専門職認定教育センター・ディレクター  
テイ・ピアン・ハウさん  
国際アディクション専門職認定教育センター・トレーニング・エグゼクティブ  
スミタ・パネルジーさん  
ウイノナ・バンドンさん

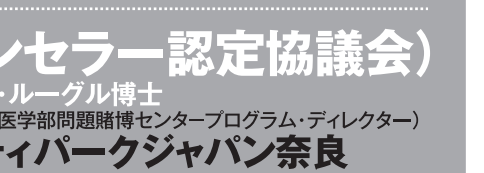
## Topics1 ONENESS GROUP 活動の記録

ONENESS GROUPは「動く!動く!」がモットー。依存症に関するイベントやセミナーを積極的に企画し、情報発信に努めるとともに、会場にお越しくださった依存症にお悩みの方、そのご家族、福祉関係者の方々とのつながりを深めています。ここでは最近の特に活動の様子をレポート!



### 午後の部 アディクション治療・リハビリサービスの専門職化に関する国際フォーラム

2009年に設立されたICCE(国際アディクション専門職認定教育センター)はアジア、米州、アフリカを中心に構成されています。今回、ワンネスグループが加わり、実に世界32カ国が加盟する団体となりました。冒頭には、ICCEディレクターのテイ氏が、ワンネス代表の矢澤祐史に、日本では初めての取得したリカバリーコーチ認定証が手渡されました。今回のフォーラムには、依存症の当事者やその家族、医療や福祉などで治療やリハビリに携わる専門職など、治療や回復を助ける「リカバリーコーチ」が新設された。今回、ワンネス代表の矢澤が取得したのもこの資格。



ICCEのような国際規格の資格取得が日本でも可能になったことは、画期的なことです。私たちは今後は、ICCEと連携し、日本国内での認定プロセスの導入を促進していきます。

## Topics2 就労レポート 愛知県名古屋市



らーめん・つけ麺「拳玉(けんだま)」